

**令和5年
11月定例会**
11月28日～12月14日
会期:17日間

今回の議案は…

市長提出議案 31件
議会提出議案 1件

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 1
〈議第89号〉
三島市都市公園条例の一部を改正する条例（全会一致）

Pick up 2
〈議第71号〉
令和5年度三島市一般会計補正予算（第8号）（賛成多数）
■補正予算額
1億5,057万2,000円

Pick up 3
〈議第95号〉
令和5年度三島市一般会計補正予算（第9号）（全会一致）
■補正予算額
11億3,275万1,000円

Pick up 4
〈発議第6号〉
幼児期における発達障がいに関する相談体制の強化を求める決議

詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。



三島市議会

Pick up 1
条例改正

地域の活力となる場所に向けて

○三島市都市公園条例の一部を改正する条例

長伏プールは供用開始から50年以上が経過し、老朽化が著しく、安全性が確保できない状況にあることから、令和5年度をもって廃止するための改正を行います。

主な質疑

質疑 長伏プールの廃止に伴う長伏公園再整備の方針は。

答弁 令和5年9月のプールの営業終了に伴い、その跡地の有効活用と整備方針について協議するため、長伏公園整備プロジェクト

チームを結成した。

このチームは副市長を部長として、庁内関係各課を横断的に組織化したもので、長伏プール跡地と、隣接する長伏公園などを一体的に整備する計画について検討を始めたところである。

検討に際しては、多くの市民が気軽に集い、楽しむことができる幅広い世代の交流の場、健康的に子育てができる環境整備、アーバンスポーツの導入による若者の利用などの新たな視点を取り入れた、地域の活力につながるような公園整備を目指していく。

質疑 今後のスケジュールおよび市民意見の反映について。

答弁 令和6年度当初予算に、長伏プールおよび建物の解体工事を計上する予定である。

それと同時に、地元自治会をはじめ、スポーツ団体、子育て世代など、多くの市民から幅広くご意見を伺う場を設けていきたいと考えている。

また、

頂いた意見等を集約し、反映させた基本計画の策定にかかる予算についても令和6年度に



計上し、令和7年度の公園整備の着手を目指す。

市民も待望する公園整備であるため、スピード感をもって、取り組んでいく。

Pick up 2
一般会計予算を増額補正

安心・安全を守るために

○小・中学校一般諸経費

小学校費 1,370万円
中学校費 1,570万円

小学校では、障がいのある児童に配慮して手すりを設置するための費用を追加するほか、特別支援学級の学級数が増加することに伴い、施設の改修および日用品購入のために必要な経費を増額します。

質疑 市道修繕の優先度と残された箇所への対応は。

答弁 修繕の優先度については、舗装のポットホール（穴・ひび割れ）や路面陥没の恐れなど、通行に支障を及ぼすかなどの安全性や緊急性を重視した上で、決定している。また、自治会・町内会からの要望箇所についても、現場を確認した上で対応可能なものは優先的に修繕を実施し、関係機関との協議に時間を要する場合や、施工時期の制約を受ける箇所等については、準備が整い次第、順次修繕を実施している。

なお、令和5年度における11月から3月までの修繕箇所数については、過年度に実施した修繕の実績から推計し、150件程度を見込んでいます。

〈議第71号 一般会計補正予算のその他の主な内容〉

- 職員構成の変動など決算見込みによる人件費 △1億1,085万1,000円
- 過年度児童手当負担金等の確定に伴う国費返還金 5,504万1,000円
- 一般橋梁整備事業 3,900万円
- 防災・省エネまちづくり緊急促進事業補助金（再開発組合へ工事費高騰分助成） 4,200万円
- 一般諸経費 6,000万円（小学校教師用教科書および指導書購入）

また、中学校では特別支援学級の施設・増設や、校内支援室の設置に伴う空調改修、屋内運動場の劣化した床の修繕等に必要経費を増額します。

主な質疑

質疑 特別支援学級の設置状況と今後の課題は。

答弁 特別支援学級に在籍する児童・生徒の数は、令和2年度は160人で28学級であったが、令和5年度は約200人で30学級と増加している。今後も在籍数や学級数も増えることが予想されることから、教室や教員の確保が課題となっている。

補正に計上しているのは、令和6年度に見込まれる小・中学校の通常学級や特別支援学級の施設や増設に必要な費用となる。1学級の児童・生徒数は、通常学級は35人まで、特別支援学級は8人までと定められていることから、現時点で見込まれる最大限の新設や増設を想定している。



質疑 校内支援室の現状および課題は。

答弁 現在北上中学校、中郷中学校、山田中学校の3校に設置している校内支援室については、定期的に利用する生徒のほか、一時的に利用する生徒も複数名いる。

この支援室は、生徒にとって安心・安全な居場所となっており、その効果は大きいと考えている。

残りの錦田中学校、南中学校、北中学校、中郷中学校においても令和6年度の設置について検討している。

主な質疑

質疑 修繕の箇所数とその詳細は。

答弁 市道を安全に利用してもらうため、職員による道路パトロールや市民通報のほか、自治会・町内会からの要望を受け、道路の不良箇所や、危険箇所を速やかに修繕し、適正に維持管理を実施している。

令和5年4月から10月までの修繕の状況は、大雨による災害対応を除いて230件を実施しており、当初予算に対し、76・7%の執行状況となっている。修繕の内訳は、車道の舗装修繕が85件、歩道修繕が10件、縁石等を含む歩行者保護の安全施設修繕が35件、側溝修繕が49件、その他の修繕が51件である。